

令和6年度 校長あいさつ

本校は、沖縄本島北部地区の肢体不自由、病弱児の教育を担う特別支援学校です。学校設置の変遷によると、昭和57年名護療育園（平成28年より名護療育医療センター）に入所している児童生徒の義務教育を保障するために療育と連携した訪問教育から始まり、現在では、名護療育医療センターからの児童生徒と本島北部地区在住の児童生徒を対象に小学部から高等部まで一貫した教育を行っています。

今年度（令和6年4月）は、小学部12名、中学部6名、高等部8名の児童生徒が在籍し、本校の校訓「健康・思いやり・自律」のもと①健康を意識する子、②素直で思いやりのある子、③主体的に活動する子を本校のめざす子ども像として掲げ日々の教育活動に励んでいます。児童生徒一人一人の障害の状態や発達段階及び特性に応じた教育を個別に計画し、日々健康管理を行いながら、児童生徒一人一人の持てる力を引き出し、伸ばし、可能な限り自立し社会参加するための「生きる力」を育てていく教育活動を行っています。特に小学部では、学ぶ意欲を身に付け、中学部において集団や仲間と協働することを意識し、高等部においては、それぞれの能力を活かし社会参加・自立を目指します。

そのためにも、家庭や隣接する名護療育医療センターとの連携はもちろん、地域や関係機関と連携を大切に、学校教育に取り組んでいきたいと考えています。

また、本島北部地域の肢体不自由、病弱児のセンター的な役割については、学校で行っている教育・支援等の情報を適切に伝え、意見を反映できる体制作りに努めて行きます。特別支援教育について、お聞きしたいことがありましたら、どうぞ、本校までご相談ください。

今後とも、桜野特別支援学校の教育活動にご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

県立桜野特別支援学校
校長 津波 佳和